

千葉大学医学部附属病院で胸髄髄内腫瘍と診断され、 腫瘍摘出術を施行された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年5月14日

リハビリテーション部

リハビリテーション部では、「胸髄レベルの髄内腫瘍摘出術後の神経学的増悪の有無による神経症状と歩行機能の推移と予後関連因子の調査：症例集積研究」を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2019年4月1日～2024年10月1日の間に胸髄髄内腫瘍と診断され
当院で腫瘍摘出術を施行された方

1. 研究課題名

「胸髄レベルの髄内腫瘍摘出術後の神経学的増悪の有無による神経症状と歩行機能の推移と予後関連因子の調査：症例集積研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、胸髄髄内腫瘍患者さんの手術前から手術後6カ月までの脚の筋力、感覚、日常生活上の動作や歩く能力をカルテから取り込み、これらの症状や歩く力がどのように変化していくかを調べます。また、当院から直接ご自宅に退院できたかどうかについても調査します。手術後における日常生活上の動作や歩く力がどのように回復していくかを調査することで、将来的に患者さんやご家族へ予後の説明や手術後の生活の準備に役立つ可能性があります。また胸髄髄内腫瘍の患者さんに対するリハビリをより良い

ものにしていくためにも、手術後の体の症状や歩く力の変化を詳しく調べることは大切だと考えています。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた情報は千葉大学リハビリテーション部運動機能評価室にて解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

カルテに記載されている年齢、性別、身長、体重、病歴、腫瘍の種類、重症度、身体機能、手術内容、歩行能力、日常生活動作の自立度、退院先

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：リハビリテーション部 准教授 村田淳

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

リハビリテーション部 理学療法士 桑田麻由子

043（222）7171 内線6430